



明峰

令和8年5月15日

第4号

校長 岡野利男



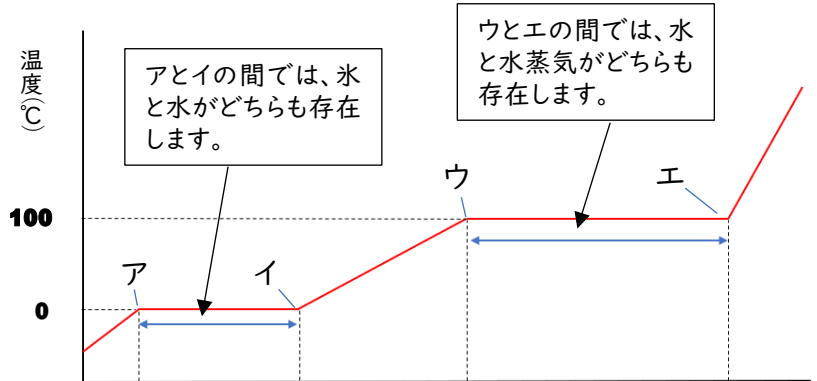
☆犬塚さんからの贈りもの
今回は、ナデシコ、カンパ
ニューラ、カエデ。
いつもありがとうございます。
ございます。

氷から水へ・水から水蒸気へ

右の折れ線グラフを見てください。これは、中1の理科で学習する「状態変化と温度」を表したグラフです。具体的には、【氷】→【水】→【水蒸気】を表したグラフになります。

◇アは0℃。氷が水になり始めます。

◇アとイの間では氷がすべて水となるまで、0℃のまま変化しません。



◇さらに、このまま熱し続ければ、水の温度はどんどん上がり、ウの100℃に到達します。すなわち「沸騰」が始まります。そして、エですべての水が水蒸気になるまで、その温度は100℃のまま変わりません。

【結論】状態の変化、すなわち『氷と水が混ざっているとき』と『水と水蒸気とが混ざっている時』は、温度が変わりません!!

いきなり何の話・・・?と思われたことでしょう。

ましてや、理科の教員でない私から何のこと?と思われたことだと思います。

似ているなど思ったのです。状態変化と明峰生。昨日の6校時、全体練習のこと。先生方、そして、各団リーダーたちが飛ばす『檄』の対象は、「水になる手前の氷の状態の人たち」でした。もう一度、グラフを確認してください。今、明後日の体育大会に向かう明峰中生は、「アとイの間」の状態だと言えます。つまり、既に水となり0℃からどんどん温度を上げていく状態に入った人たちがいる一方、なかなかその準備に入りきれない「氷のまま」の人たちがいる状態でもあります。

全員が「水」に変化しないと0℃から温度を上げていくことはできません。昨日の1校時の2年生の学年練習、そして2校時の1年生の学年練習は、校長室でジッと仕事しているのが我慢できない程、気持ちの昂る、ワクワクするものでした。鍵は、間違いなく3年生が握ります。3年生諸君の最後の追い込みを信じています。残された今日という最後の日に全員が「イ」の状態に成り切ることを願います。

私は、去年からずっと3年生諸君を見てきました。だからこそ、全員が「水=0℃」に状態変化して、上昇気流に乗っていく第3学年を楽しみにしています。実は、私、本日午後から県外出張に出かけるため、体育大会前最後の3年生の姿を見ることができません。でも、信じています。4月からの一か月、第3学年は確実に伸びた。そのことを5月17日に証明してほしいのです。

そうすることで、秋にはグラフ中「ウ」の段階に突入し、令和9年3月10日=卒業証書授与式の時、グラフ中「エ」の状態に達する。それを夢見ています。

立派にソーラン節を、踊り切る3年生の姿に涙したい。



【体育大会の態度決定について】

○第1次態度決定を前日16日(土)17時です。

※日曜日の雨の確率が低い場合は、この時点での態度決定で「実施」の判断もあり得ます。微妙な場合は、翌日の第2次態度決定をお待ちください。いずれにしても「あんしんメール」でお知らせします。

○第2次態度決定は、当日17日(日)6時です。

それでは、保護者の皆様・地域の皆様

「百花繚乱 最高を越えた彩光の舞台へ」

R8明峰中生の挑戦、とくにご覧願います。